

オムニス関西

Omnis
Kansai

JHEPPLER

スポーツライター・福永美佐子

ラグビーからアメリカカ
ンフットボールへの転
向。高校、大学ではよく
あるが、ラグビー日本代
表経験者の社会人Xリー
グ入りは、初めてだ。木
下剛(34)が12年間所属
したラグビードップリー
グのNECを昨年限りで
勇退し、クラブチームの
強豪オービックシーガル
ズの一員になった。



東海大仰星高―京産大
の出身で、日本代表元主
将の大畑大介(神戸製鋼)
と同期。木下はスクラム
最前列で最も負担のかか
るプロップとして、各世
代の日本代表に選ばれ世
界を舞台に活躍した。

過酷なポジションでけ
がは絶えず、ひざや腰な
ど8度も手術した。腰椎
(ようつい)には今も長
さ3秒のボルトが2本入
ったまま。可能性がある
限りの挑戦を続け、昨秋、
ひざの手術後のリハビリ
中に転向を考えた。来月
35歳になる。体の強さに
自信がなければ挑戦でき
ない。「今が最後のチャ
ンス」と決意した。プロ
契約でなか
ったため、
NECの理
解を得て、
仕事はその
まま継続。チームメート
は驚きながらも快く送り
出してくれた。

ラグビー元日本代表、アメフト挑戦

からやり直し。戸惑いの
連続だが、ボールを持つ
た時「めちやくちゃワク
ワクしてアドレナリンが
わいてくる感じ」は変わ
らなかった。

185磅、105ポンドの
体格と当たりの強さを生
かし、今はボールを運ぶ
ランニングバック(RB)
を練習中だ。シーガルス
の5人のRBの平均は1
72磅、79ポンド。大橋誠へ
ッドコーチ(45)は「日
本に今までいなかったタ
イプのRB。面白い存在」
と木下の可能性に期待す
る。ダウン更新やゴール
前で確実に前進したいと
きの切り札になり得る。

「1プレーでも多く任さ
れる存在に早くなりた
い」と木下。7月1日、
富士通と眷の東日本社会
人王座を争うパールボウ
ル・トーナメント決勝(東
京ドーム)で「突進のス
ペシャルリスト」としての
第一歩を踏み出す。

月知&得

火創&芸

水探